

## 宮城県特別支援教育将来構想実施計画について

## 1 策定の趣旨

宮城県特別支援教育将来構想 (計画期間：H27～R6 年度)		実施計画（前期） (計画期間：H27～R1 年度)
方向性	目標	主な取組
切れ目のない支援体制	自立と社会参加	・乳幼児期からの支援体制の充実 ・卒業までの円滑な支援体制の充実 ・進路学習の充実
多様な学びの場	学校づくり	・教育的ニーズに応じた学びの場の充実 ・教員の専門性向上 ・学習環境の整備
社会との絆	地域づくり	・共生社会の理解促進 ・市町村支援の充実

○R2～R6 年度を計画期間とする実施計画（後期）を今年度中に策定する。

## 2 実施計画（後期）の策定の視点

- 実施計画（前期）の取組で課題が継続しているものに加え、新たな課題に係る取組を追加する。
- 特別支援教育課の取組だけでなく、特別支援教育に関する他課室の取組も網羅する。
- 将来構想で示す目標 1，目標 2，目標 3 の複数目標に関わる事業を 3 つの集合を用いた図（ベン図）により整理し、施策体系を分かりやすくする。

## 3 実施計画（前期）の取組における主な課題

取組	主な課題
○ 乳幼児期からの早期支援・卒業後を見据えた切れ目のない支援体制の確立	・ 「個別の教育支援計画」の作成が不徹底。 ・ 個人毎に異なる合理的配慮を明確にするための幼→小→中→高への引継が不十分。
○ 多様な教育的ニーズに対応した教育環境整備の推進	・ 知的障害の伴わない発達障害のある生徒等について、高校の通級による指導や多様な教育的ニーズを的確に捉えた指導方法の工夫や拡充について更なる検討が必要。
○ インクルーシブ教育システムの構築	・ 特別支援学校だけでなく、受け入れる小中学校への教育的効果を明確化し、学習内容を充実させる取組が必要。

## 4 今後のスケジュール

